

第 1723 回（7 月 16 日）

ベトナムの農村金融

（東京大学）泉 田 洋 一

周知の通り、ベトナムでは 80 年代後半に開始されたドイモイ以降、矢継ぎ早の経済改革がなされ大きな成果を生みだしている。農業においても改革以降の農業生産は年率 4.5 % という高い成長率で増加した。そしてこの農業成長に対して農業信用の増加は大きな貢献をなしたとみられる。

ベトナムでは 1990 年以降ベトナム農業銀行を中心とする制度的金融の伸張には著しいものがあつた。農村信用の供与量は年率平均 6 割を超す率で増加し、しかもこの信用の増加は貯蓄動員額の高い伸びと、良好な資金返済率を伴っていた。資金供給量の全般的不足、特に中長期資金の不足、また手続きの面倒さなど、いくつかの問題を抱えているとはいえ、ベトナムの農村金融のこの間の展開は全体として「成功」とみなされる。この「成功」は延滞率の高さと資金動員の低迷に悩む他の低所得国の農業金融機関と対照的である。

それではなぜベトナムで農業金融発展が成功したのであろうか。

第 1 に挙げるべきことは、ベトナム農村における資金需要の強さである。このことは我々の農村調査結果からも実証しうるし、ベトナム農業の成長、インフォーマルな金融の比重の大きさからも窺えるものである。資金需要の強さの背景には、1990 年時点で利用可能ではあつたが資金不足等の理由で行うことのできなかつた収益性の高い投資機会が多く存在していたこと、また農業社会であるベトナムでは国家主導の経済体制のもとでも社会の活力が窒息していなかつたことがある。

第 2 に、制度的金融がベトナム農村の政治・行政組織や村落内大衆組織から全面的な支援を受けている点である。具体的に述べる

と、例えば VBA 融資に際して、村の農教会・婦人会などの大衆組織は 20 人程度のグループを作りあげる。グループのリーダーはメンバー全員と人民委員会の同意のもと、融資書類の提出、利息の回収等を代行する。グループは連帯債務の義務を持つ場合も多く、集団監視のもとメンバーは資金の返済に必死たらざるをえない。借入グループを通じた貸出は、村落内部と政治・行政組織の両方から信認を受けているに等しく、融資にかかわる取引費用を節減できると同時に高い資金回収率を確保しうるのである。

第 3 に、マクロ経済政策の成功という点が重要である。特に物価と為替の安定化ということが大きい。マクロ経済の安定は金融発展の前提条件であることが示されている。

第 4 に適切な金融組織の創設に関する近隣諸国の経験をベトナムが利用できたことである。グループ貸出はもとより、通帳の利用、移動銀行等の技術が、世銀、IMF 等の国際機関の援助を通じて、ベトナムの農村金融の中で活かされている。

最後にベトナム農村金融の課題についてふれておきたい。ベトナム農村金融の問題点は VBA という政策金融機関が制度的金融の中で独占的地位を占めており、対抗する機関が今のところ見当たらない点にある。このことは競争性の欠如、そこからもたらされる非効率率という問題につながるであろう。この点との関連で、協同組合金融機関をどう育成していくかがベトナム農村金融にとっての最重要課題であるといえよう。